

春季県高校野球

能代24年ぶり優勝

東北大会出場 第3代表は大曲工



【明桜・能代】七回裏能代2死満塁、4番・杉渕の右前適時打で三塁から細田が生還

第64回春季東北地区高校野球県大会は30日、秋田市のこまちスタジアムで決勝戦と第3代表決定戦があった。決勝は能代が明桜に13-9で勝利し、24年ぶり9回目の優勝に輝いた。第3代表決定戦は大曲工が4-1で

秋田中央を降し、能代、明桜に続く「東北切符」を手にした。東北大会は6月9日から岩手県である。【森口沙織】

明桜の猛追及ばず
◇こまちスタジアム
▽決勝
明桜 2011000005
313010050X 139
能代 2011000005
313010050X 139

秋田中央八回一矢
▽第3代表決定戦
秋田中央 0000000101
101200000X 41
大曲工 101200000X 41

右腕・藤井投手は二回、二塁から三塁への走塁の際に右足首をひねるアクシデントに見舞われた。それでも歯を食いしばり、足を引きずってマウンドへ。スコアボードに四つのゼロを並べた。

「みんなに助けてもらおうと思った」と藤井投手。その力投に後押しされ、チームは投

明桜は初回、4番・杉渕と7番・関の2本の適時打などで3点を奪って逆転に成功。5番・小林敬の2本のソ

秋田中央八回一矢
▽第3代表決定戦
秋田中央 0000000101
101200000X 41
大曲工 101200000X 41

右腕・藤井投手は二回、二塁から三塁への走塁の際に右足首をひねるアクシデントに見舞われた。それでも歯を食いしばり、足を引きずってマウンドへ。スコアボードに四つのゼロを並べた。

「みんなに助けてもらおうと思った」と藤井投手。その力投に後押しされ、チームは投

市立中3年女子
川に転落し死亡

不振一掃 責任果たす2発

思わず叫んでいた。「よっしゃあー」。三回、左方向にソロ本塁打を放った直後。仲間が待つ一塁側ベンチに自然と顔が向いた。五回にはこの日2本目のソロ本塁打。中軸打者としての責任をきっちり果たし、チームの優勝に貢献した。

能代・小林敬介内野手(3年)



この日2本目のソロ本塁打を放って喜ぶ小林選手(右)

その一念で打席に立つた。この日は3打数2安打。放った2安打はいずれも本塁打となった。チームの合言葉は「若狭(主将)に優勝旗を」だったという。昨年の秋季県大会。決勝で秋田に3-1で敗れ、期するものがなかった。冬場は1日ではない。【森口沙織】

30日午前9時20分ごろ、秋田市新屋大川町の雄物川に若い女性が転落した、と119番があった。市消防本部や県警などが女性を救出したが、約5時間半後に搬送先の病院で死亡した。

市教育委員会によると、亡くなったのは市立中学3年の女子生徒。履いている内履きの靴などから判明した。この日は一時限目の途中でトイレに行き、そのまま行方分からなくなったという。欠席は少なく、いじめや進路に関する相談はなかったという。

研究組織設立の動き

全性を確かめる検査技術について、研究を

最低賃金の引き上げを要請する書面を石川聡・県雇用労働政策課長(右)に手渡す県労連の星野博之議

798円だった。星野議長は「秋田の

と阿